

臺大機械系
106 學年度第 6 次系務會議紀錄

時間：中華民國 107 年 2 月 26 日(星期一) 下午 12 時 30 分

地點：工綜館 734 室

出席：詳見簽到表

主席：黃主任美嬌

記錄：林玉燕

壹、確認上次會議紀錄

貳、系務報告

一、歡迎熱流組新到任老師許麗助理教授。

二、張純節、黃金潭退休，胡立輝、巫韋倫離職，補李弈銘與陳俊行(預計 3 月 1 日到職)，歡迎以上新進人員加入本系。

三、107 學年度必修課一班英語授課兩班中文授課，感謝諸多老師支持配合開授。

四、工綜新館預定 3/12 辦理開工說明會，系上特別成立專門工作小組(感謝林沛群、陳湘鳳、孫珍理、莊嘉揚、李貫銘老師熱血承擔重責大任)於施工期間進行規劃、管理與監督。

五、高教深耕台大補助 18 億，只有邁頂的六成。深耕計畫第二部分全球鏈結核定結果工學院爭取到前瞻綠色材料高值化研究中心。

六、本系 106 年 12 月至 107 年 2 月的榮譽事蹟統計如下：

- 蘇偉儒教授之研究生黃奕傑、洪書群、林文字、劉紹增 2017 東京威力科創機器人大賽-鋼鐵擂台於全國總決賽中榮獲亞軍及超神速技術獎兩項大獎。(11/25)
- 黃美嬌主任指導學生林孟學榮獲科技部 105 年度大專學生研究計畫研究創作獎。(11/27)
- 楊鏡堂教授榮獲第 41 屆全國力學會議海報論文獎特優。(11/24)
- 葉思沂、賴皓煒、楊鏡堂*，"三維交疊流道設計於微液珠濃度調配系統之應用"
- 莊嘉揚教授榮獲 106 年吳大猷先生紀念獎。(12/06)
- 廖洺漢教授榮獲 106 年吳大猷先生紀念獎。(12/06)
- 黃信富教授指導學生黃堃豪參加中國機械工程學會第 34 屆全國學術研討會競賽論文報告，榮獲佳作。(12/06)
- 莊嘉揚教授榮獲中華民國力學學會 106 年「年輕力學學者獎」。(12/07)
- 莊嘉揚教授指導專題生周世謙、葉昭勇的論文「軟性爬管機器人」，榮獲全國力學會議學生論文競賽佳作。(12/07)
- 楊馥菱教授榮獲中國機械工程學會傑出機械青年工程教授獎。(12/07)
- 楊申語教授帶領研究生柯坤呈、張乃文、孫勇及黃星維同學參加第十一屆塑膠材料應用及技術論文比賽榮獲第二名。(12/25)The Second Prize of SPE-Taiwan 11th Outstanding Research Award, 2017

- 楊申語教授帶領研究生柯坤呈、張乃文、洪瑋晟及何峻瑋同學參加第十一屆塑膠材料應用及技術論文比賽榮獲佳作。(12/25)The Second Prize of SPE-Taiwan 11th Outstanding Research Award, 2017
- 馬劍清教授指導龔瑞清同學、王盛儀同學、黃右年同學榮獲 2017 第六屆程泰「精密工具機與自動化技術」專題實作獎第二名。(12/27)
- 馬劍清教授指導龔瑞清同學榮獲 106 年度中技社創意獎學金。(12/27)
- 馬劍清教授指導吳亦莊同學榮獲力學學會舉辦之 106 年度學生論文競賽固力材料組第二名。(12/27)
- 馬劍清教授指導蔡渝斐同學榮獲第 2017 第六屆美律電聲論文獎電聲工程特別獎。(12/27)
- 國立臺灣大學機械工程學系(學士班、碩士班/博士班)通過 106 學年度 IEET 認證。(2/13)。

參、提案討論

一、案由：擬修訂本系「研究生獎勵金實施辦法」。(課程委員會提)

說明：因教學助理為勞僱型，其人數多寡影響本系應進用身心障礙者人數之計算，故明定一份教學助理津貼原則由一位研究生領取，如有特殊需求，應經課程委員會核可。

決議：修訂通過，如附件一。

二、案由：擬修訂本系「博士班學位授與規定及考核辦法」。(學術委員會提)

說明：依 107.1.29 本委員會議提案討論之決議。近年因修改頻繁，致條文結構鬆散、不易理解。為使博士班學生更易掌握本系學位授予及資格考核之規定本委員會全盤檢視條文層次及內涵，調整各點次序並作文字修正。

決議：修訂通過，如附件二。

三、案由：北海道大學化學科學與工程博士生小松雄士至本系研究學習之共同指導案。(范士岡教授提)

說明：依本校工學院於 2016 年 10 月 20 與北海道大學綜合化學院簽署學術交流合作協議書辦理，北海道大學化學科學與工程博士生小松雄士為杜慶次學教授 (Manabu Tokeshi, Sensors and Actuators B: Chemical 主編, Lab on a Chip 副主編)指導之博士生，預計將於 2018 年 5 月至 2019 年 5 月至本系研究學習。

決議：通過之共同指導協議書，如附件三。

四、案由：擬聘任 Prof. Savas Yavuzkurt 為兼任教授，請討論。(熱流組提)

決議：通過。

五、案由：擬訂定本系「計算機中心組織與管理辦法」。(計算機中心提)

決議：修訂通過，如附件四。

六、案由：擬修訂定本系「實習工場管理辦法」、「實習工場管理施行細則」、「實習工場作業施行細則」。（實習工場提）

決議：修訂通過本系「實習工場管理辦法」如附件五。本系「實習工場管理施行細則」及本系「實習工場作業施行細則」因時間因素，延至下次再議。

「臺大機械系研究生獎勵金實施辦法」修正條文對照表

修正條文		現行條文		說明
一	本系受領研究生獎勵金者，均須符合「國立臺灣大學研究生獎勵金實施辦法」之各項規定。	一	本系受領研究生獎勵金者，均須符合「國立臺灣大學研究生獎勵金實施辦法」之各項規定。	
二	本系將校方撥給之研究生獎勵金依性質分為「勞僱型兼任助理—教學助理」津貼、「勞僱型兼任助理—行政助理」津貼及「獎助金」。研究生需填寫繳交「機械系研究生獎勵金申請表」提出申請。 「勞僱型兼任助理—教學助理」津貼由參與課程教學之研究生申請，經課程委員會審查核准後領取； 「勞僱型兼任助理—行政助理」津貼由參與系所服務之研究生申請，經課程委員會審查核准後領取； 「獎助金」由符合本辦法第一條之研究生申請，經指導教授審查核准後領取。	二	本系將校方撥給之研究生獎勵金依性質分為「勞僱型兼任助理—教學助理」津貼、「勞僱型兼任助理—行政助理」津貼及「獎助金」。研究生需填寫繳交「機械系研究生獎勵金申請表」提出申請。 「勞僱型兼任助理—教學助理」津貼由參與課程教學之研究生申請，經課程委員會審查核准後領取； 「勞僱型兼任助理—行政助理」津貼由參與系所服務之研究生申請，經課程委員會審查核准後領取； 「獎助金」由符合本辦法第一條之研究生申請，經指導教授審查核准後領取。	
三	研究生獎勵金之分配額度： - 一份教學助理津貼為必修課及知識領域課程每個月核給玖個基點，一般選修課程為每個月核給柒個基點；每學期至多核給五個月。每基點折合率，視校方獎勵金補助經費狀況另定之。 <u>一份津貼由一位研究生領取，如有特殊需求者，應擬具理由向課程委員會提出申請核可。</u> - 行政助理津貼視系所服務工	三	研究生獎勵金之分配額度： - 一份教學助理津貼為必修課及知識領域課程每個月核給玖個基點，一般選修課程為每個月核給柒個基點；每學期至多核給五個月。每基點折合率，視校方獎勵金補助經費狀況另定之。 - 行政助理津貼視系所服務工作之內容、用時而定。 - 自校方撥給之研究生獎勵金預算總額，扣除前兩項「勞僱型兼任助理」津貼使用總額	因教學助理為勞僱型，其人數多寡影響本系應進用身心障礙者人數之計算，故明定一份教學助理津貼原則由一位研究生領取，如有特殊需求，應經課程委員會核可。

修正條文		現行條文		說明
	作之內容、用時而定。 3. 自校方撥給之研究生獎勵金預算總額，扣除前兩項「勞僱型兼任助理」津貼使用總額（含必要支出）後，為「獎助金」預算總額。 4. 將「獎助金」預算總額，依每位指導教授審查核准後之人數，並依碩博士生每名 3:4 之基數比例分配一額度至每一教師，每位研究生可領取之額度由其指導教授決定之。		（含必要支出）後，為「獎助金」預算總額。 4. 將「獎助金」預算總額，依每位指導教授審查核准後之人數，並依碩博士生每名 3:4 之基數比例分配一額度至每一教師，每位研究生可領取之額度由其指導教授決定之。	
四、	研究生申請教學助理津貼應取得指導教授許可。每名研究生每學期以服務一班課程教學為原則，至多得服務兩班課程教學。	四、	研究生申請教學助理津貼應取得指導教授許可。每名研究生每學期以服務一班課程教學為原則，至多得服務兩班課程教學。	
五、	研究生應於每學期正式上課日起四個工作日內完成註冊手續，並填寫繳交「研究生獎勵金同意書」方能申請獎勵金。	五、	研究生應於每學期正式上課日起四個工作日內完成註冊手續，並填寫繳交「研究生獎勵金同意書」方能申請獎勵金。	
六、	研究生對本獎勵金之申請過程或結果如有不服，可具體載明相關事實，於通知送達日起三十日內向課程委員會提出申覆。 課程委員會進行申覆案審核時，必要時可請申覆人與關係人到會說明。 審核確定後之決議，報請系主任執行之。	六、	研究生對本獎勵金之申請過程或結果如有不服，可具體載明相關事實，於通知送達日起三十日內向課程委員會提出申覆。 課程委員會進行申覆案審核時，必要時可請申覆人與關係人到會說明。 審核確定後之決議，報請系主任執行之。	
七、	研究生對參與教學、行政等服務之負擔，如有不服，可具體載明相關事實向系主任提出申訴。	七、	研究生對參與教學、行政等服務之負擔，如有不服，可具體載明相關事實向系主任提出申訴。	
八、	本辦法經系務會議通過後，自發布日起施行。	八、	本辦法經系務會議通過後，自發布日起施行。	

「國立臺灣大學工學院機械工程學研究所博士班學位授與規定及考核辦法」修正草案對照表

修正名稱		現行名稱		說明
	國立臺灣大學工學院機械工程學系博士班學位授與及資格考核辦法		國立臺灣大學工學院機械工程學研究所博士班學位授與規定及考核辦法	一、依「國立臺灣大學組織規程」第十二條及附表一「組織系統表」所示，將機械工程學研究所修改為機械工程學系。 二、依「學位授予法」用語，酌作文字修正。
修正條文		現行條文		說明
一	本系博士班研究生（以下簡稱學生）學位授與及資格考核，須遵循教育部及本校有關規定，並依本辦法辦理。	一	本所博士班研究生（以下簡稱學生）學位授與及考核，除依據教育部及本校有關規定外，悉依本辦法辦理。	配合名稱修正，酌作文字修正。
二	學生入學一年內應選定指導教授。 學生應滿足以下所有條件方得授予博士學位： (一) 至遲須於入學（或轉入）起 4 個學期內通過資格考核。 (二) 至少須修滿 18 學分；逕行修讀博士學位研究生至少須修滿 30 學分（含碩士班期間所修學分數）。 (三) 畢業前符合本校進階英語課程實施辦法第七條各項之任一條件或修畢「研究生線上英文三」(AdvEng7003)。 (四) 須於 EI 或 SCI 收錄之期刊發表（含接受）論文至少兩篇，其中至少一篇發表於 SCI 收錄之期刊。論文內容須為學生在學階段所完成者，並為第一或第二作者，且期刊品質經系主任認可者。	二	學生入學一年內應選定指導教授並參加『資格考試』（學科考試），該項資格考試必須於註冊修業起 4 個學期內通過。資格考試每學期公告辦理，學生應考前須經指導教授簽名同意後，自以下六個學門中選定一『主修學門』，並以該學門所列之三個科目應考，成績以 70 分為及格： 1. 流體力學（包括黏性流體力學、高等熱力學一、高等熱傳學）。 2. 熱學（包括黏性流體力學、高等熱力學一、高等熱傳學）。 3. 控制學（包括系統動態學、線性控制系統、數位控制系統）。 4. 固體力學（包括線性彈性力學、有限元素法、振動學）。 5. 機械設計學（包括高等機動學、機器動力學、最佳設計）。	一、第一項保留入學一年內選定指導教授之義務宣示；刪除一年內應參加資格考核之限制。 二、原資格考試之規定移列至第三、四點。並參考「學位授予法」第七條、本校「博士學位候選人資格考核實施要點」之用語，改稱為資格考核。 三、為方便學生理解、避免遺漏，特將散列之畢業規定整理至第二項各款。

修正名稱	現行名稱	說明
(五) 通過教育部所規定之學位考試。	6. 機械製造學（包括材料之機械性質、切削原理、製造原理）。 學生第一次參加上項考試必須三科全部應考，及格與否各科分開計算；若有不及格之科目可參加下次資格考試，但其主修學門不得更換。若參加兩次資格考試後仍有不及格科目者，以退學處理。有關資格考試各科之命題範圍另件載於『臺大機械工程研究所博士班資格考試各科範圍』；教師之命題及評分細節則載於『臺大機械工程研究所博士班資格考試命題及評分原則』。 凡符合下列情形者，選定學門內之該應考科目視為通過『資格考試』（學科考試），而得以免試： 於提出免試申請五年內在本系、所已修過該科目，且修業成績排名達 B 以上者。	四、第二項分別規定： (一) 本系資格考核之期限； (二) 畢業應修學分，摘自本校學則第七十三條； (三) 畢業英語能力，原第三點移列。因參照之施行辦法已於 106.10.20 修正，故實質已增列「國際溝通英語測驗 (TOEIC) 總分 785 分以上」之免修條件； (四) 論文發表，原第六點移列； (五) 學位考試，原第四點第一項前段。
三、本系每學期公告辦理資格考核筆試一次，筆試分五主修學門，學生須於其中選定一學門應考，並須經指導教授簽名同意，且選定後即不得更換。 五主修學門及其考試科目條列如下： (一) 「熱流學」：黏性流體力學、高等熱力學、高等熱傳學 (二) 「控制學」：系統動態學、線性控制系統、數位控制系統 (三) 「固體力學」：線性彈性力學、有限元素法、振動學 (四) 「機械設計學」：高等機動學、機器動力學、最佳設計 (五) 「機械製造學」：材料之機械性質、切削原理、製造原理	三、學生須於畢業前符合本校進階英語課程實施辦法第七條各項之任一條件或修畢「研究生線上英文三」(AdvEng7003)。	一、原規定調整至第二點第二項第三款。 二、本點整理原第二點之資格考核，規範： (一) 方式（筆試）； (二) 頻率（每學期一次）； (三) 學生須選定學門（決定考試科目）且不得更換； (四) 各科目筆試及格標準（70 分）及資格考核通過標準（選定學門之所有筆試科目皆及格）；

修正名稱		現行名稱		說明
	各科目之命題範圍、評分原則另以辦法訂定之。			(五)重考以一次為限。摘自本校「博士學位候選人資格考核實施辦法」第六點； (六)免試之規定，並放寬申請時點（提出申請→入學）； (七)未依規定（期限、次數）通過資格考核之效果，應令退學。
四、	前條各學門之各科目筆試採百分制，以 70 分為及格，所有科目皆及格為通過資格考核。 首次應考者必須申請學門內所有科目之筆試，不及格者以重考一次為限。 學生入學前五年內或在學期間曾於本系修習與筆試科目同名之課程，且成績達 B 以上者，視同該科目筆試及格，得以免試。 學生未於規定期限內通過資格考核或參加兩次資格考核筆試後仍有不及格科目者，以退學處理。	四、	學生須通過教育部所規定之『學位考試』。『學位考試委員會』之成員，除指導教授本人外，悉由所長認可或選定。 學位考試日期、地點、學位論文題目、摘要及考試委員等資訊，須於考試日期至少一週前公告；學位考試口頭報告時應對外公開，允許旁聽。	一、原第一項前段調整至第二點第二項第五款；原第一項後段、第二項調整至第五點。 二、第一項規定資格考核主修學門。原「流體力學」及「熱學」學門因考試科目相同，整合為「熱流學」學門。 三、第二項規定各科目之命題範圍、評分原則另以辦法訂定，簡化原規定之敘述。
五、	學生申請學位考試，須組織學位考試委員會，其成員除指導教授本人外，悉由系主任認可或選定。 學位考試日期、地點、學位論文題目、摘要及考試委員等資訊，須於考試日期至少一週前公告；學位	五、	學生在未選定指導教授前，其選課及學業相關事宜由系（所）主任或其授權之副系主任負責。	一、原規定調整至第六點。 二、本點為原第四點第一項後段及第二項之內容，並酌作文字修正。

修正名稱		現行名稱		說明
	考試口頭報告時應對外公開，允許旁聽。			
六、	學生在未選定指導教授前，其選課及學業相關事宜由系(所)主任或其授權之副系主任負責。	六、	學生須於 EI 或 SCI 收錄之期刊發表(含接受)論文至少兩篇，其中至少一篇發表於 SCI 收錄之期刊。論文內容須為博士班研究生階段所完成者，並為第一或第二作者，經系主任認可後始得畢業。	一、原規定調整至第二點第二項第四款。 二、本點為原第五點之內容，並酌作文字修正。 三、相關規定供參：本校「論文指導教授與研究生互動準則」第三條：「系、所、學位學程主任於研究生無法覓得指導教授或指導教授因生病、辭職、出國及過世等因素無法再繼續指導時，應提供必要之協助。」
七、	本辦法經系務會議通過報校核備後，自發布日施行。	七、	本辦法經系務會議通過報校核備後，自發布日施行。	本點未修正。

コチュテル・プログラム同意書 北海道大学

大学院総合化学院

国立台湾大学

工学院

小松雄士

(コチュテル学生)

学籍番号：28163116

背景

- A. 北海道大学大学院総合化学院と国立台湾大学工学院は、2016年10月20日にコチュテル・プログラム覚書を締結した。
- B. コチュテル・プログラム同意書（以下「同意書」という。）は、上記のコチュテル・プログラム覚書に基づき取り交わすものであり、本同意書に定められている条項は、プログラム覚書に規定されている事項に基づくものである。
- C. 両大学は共同研究について継続的な協力関係がある。
- D. コチュテル学生は、博士課程修了に必要な研究指導を北海道大学と国立台湾大学の両大学から共同で受けることを希望する。
- E. 両大学は、本同意書で定められた条件のもと、コチュテル学生のためのプログラム手続きを進めることに同意する。

第1条 コチュテル・プログラムの詳細事項

(1) プログラム開始時の論文題目（研究期間中に変更することも可能であり、変更する場合でも、本同意書の改正は要しない）:

.....
血中成分の多項目同時測定のためのマイクロ流体デバイスの開発
.....
.....
.....
.....

(2) 指導教員:

a) 北海道大学

主任指導教員名: 渡慶次 学

副指導教員名: 佐藤 敏文

b) 国立台湾大学

主任指導教員名: 范 士岡

副指導教員名: 孫 珍理

(3) 北海道大学大学院総合化学院における博士後期課程の標準修業年限は3年である。ただし、本同意書を改定せずに、修業年限を6年まで延長することができる。

第2条 参加条件及び費用

(1) コチュテル学生は、プログラムに参加するにあたっては、北海道大学及び国立台湾大学の規則に従い、博士後期課程学生としての参加要件を満たすことが求められる。

(2) コチュテル学生は、検定料、入学料及び授業料を北海道大学にのみ支払う。一方、国立台湾大学においては、それらの費用を不徴収とする。

第3条 研究期間

(1) 博士後期課程における研究は両大学で行われ、各大学における滞在期間は両大学の指導教員の合意のもと決定される。国立台湾大学で研究指導を受ける期間は、原則 1 年以上とする。ただし、北海道大学で指導を受ける期間が博士後期課程修学期間の半分以上となるよう、研究期間を定めることが望ましい。

(2) 各大学における研究期間

1 年目:	北海道大学	2018 年 4 月	～	2018 年 5 月
	国立台湾大学	2018 年 5 月	～	2019 年 3 月
2 年目:	国立台湾大学	2019 年 4 月	～	2019 年 5 月
	北海道大学	2019 年 5 月	～	2020 年 3 月
3 年目:	北海道大学	2020 年 4 月	～	2020 年 9 月
	国立台湾大学	2020 年 10 月	～	2020 年 11 月
	北海道大学	2020 年 12 月	～	2021 年 3 月

(3) コチュテル学生は、国立台湾大学に滞在時の住居費を負担する。また、国立台湾大学は、コチュテル学生が連携大学滞在中における住居を探す際、当該学生の支援を行うものとする。

(4) コチュテル学生は国立台湾大学に滞在中、必ず健康保険に加入しなければならない。両大学は当該学生に対して、健康保険に関する情報を提供する。

第4条 学位論文審査

(1) 学位論文は、論文の要旨とともに北海道大学に提出する。コチュテル学生の学位論文審査については、国立台湾大学の指導教員を審査委員として含めたうえで実施する。

(2) 学位論文、学位論文審査及び論文の要旨については、以下の言語を使用することとする。

英語
学位論文の使用言語

日本語
学位論文審査の使用言語

英語／日本語
論文要旨の使用言語

(3) 別段の合意がない限り、当該学生にかかる学位論文審査の審査委員を招へいするための旅費及びその他経費は、北海道大学が負担する。なお、学位論文審査にあたっては、必要に応じてテレビ会議システムや同等のシステムを使用することも可能とする。

第5条 学位記

(1) コチュテル学生が学位論文審査に合格し、かつ修了要件を満たした場合は、北海道大学から当該学生に対して学位記が授与される。

(2) 北海道大学がコチュテル学生に授与する学位記には、「博士課程修了に必要な研究指導は国立台湾大学と共同で実施したものである」との文言が付記される。

(3) この学位記は、北海道大学学位規程に基づき授与される。

第6条 知的財産権

(1) 北海道大学と国立台湾大学は、特許権、著作権、その他の知的財産権に繋がる共同研究を実施する際は、両大学の規定に則り、書面による合意を取り交わすものとする。

(2) ライセンスや収益が生じる可能性のある研究を行う場合は、両者間で別途同意書を交わすものとする。

(3) 知的財産権の取り扱いについて不一致が生じた場合、両大学は誠意を持って解決にあたる。

第7条 秘密保持

本同意書に基づき、北海道大学、国立台湾大学及びコチュテル学生は秘密情報を厳守し、事前に書面による同意なく、直接もしくは間接的に第三者にその情報を公開したり、あらゆる技術的、金銭的な情報もしくはその他情報を公表しないものとする。

第8条 プログラムの中止

- (1) コチュテル学生がプログラムの参加を中止する場合は、当該学生は書面をもって両大学にその旨申し出なければならない。両大学がその申し出を受け入れた後、本同意書は失効する。
- (2) 両大学は、コチュテル学生が当該大学の規則もしくは規定に違反した場合、本同意書を終結させることができる。
- (3) 本同意書がプログラムの途中で失効した場合でも、コチュテル学生は北海道大学に継続して在籍することができ、研究や学業を続けることができるものとする。

第9条 同意書の有効期間

本同意書は両大学及び参加学生が署名した日から効力が生じるものとし、コチュテル学生のプログラム修了日、もしくは第8条で規定された本同意書の失効日まで有効である。

北海道大学

国立台湾大学

大熊 毅
学院長
総合化学院

日付:

陳 文章
工学院院长
工学院

日付:

渡慶次 学
指導教員

日付:

范 士岡
指導教員

日付:

小松 雄士
コチューテル学生

日付:

Cotutelle Program Student Agreement

National Taiwan University

The College of Engineering

and

Hokkaido University

The Graduate School of Chemical Sciences and Engineering

concerning

Takeshi Komatsu

("the Cotutelle Student")

Student ID: 28163116

Background

- A. The College of Engineering, National Taiwan University and the Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University have entered into a Memorandum of Understanding on a Cotutelle Program (MOU), signed on October 20, 2016.
- B. This student agreement (hereinafter referred to as an "Agreement") is exchanged under the MOU and the stipulation shall follow the regulations detailed in the MOU.
- C. Both universities share an ongoing commitment to cooperative research collaboration.
- D. The Cotutelle Student from Hokkaido University, desires to undertake a doctoral degree jointly supervised by National Taiwan University and Hokkaido University.
- E. The universities have agreed to enter into a Cotutelle Program arrangement for the Cotutelle Student on the terms set out in this Agreement.

ARTICLE 1 ACADEMIC DETAILS OF THE COTUTELLE PROGRAM

(1) Title of the thesis proposed at the start of this Program

(The title of the thesis may be changed during this Program without any modification to this Agreement)

.....
Development of microfluidic devices for multiplex assay of components contained in
blood.....
.....

(2) The Cotutelle Student will be supervised by the following faculty members:

a) National Taiwan University

Chief supervisor: Shih-Kang Fan

Sub supervisor(s): Chen-Li Sun

b) Hokkaido University

Chief supervisor: Manabu Tokeshi

Sub supervisor(s): Toshifumi Satoh

(3) At the Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University, the standard duration of doctoral study and research is three years. It may be extended up to six years without any modifications to this Agreement.

ARTICLE 2 ADMISSION AND FEES

(1) The Cotutelle Student has to meet the admission requirements for doctoral studies of both National Taiwan University and Hokkaido University according to their respective regulations.

(2) The Cotutelle Student pays fees for the entrance examination, admission and tuition only to Hokkaido University. On the other hand, National Taiwan University will waive these fees for the Cotutelle Student.

ARTICLE 3 RESEARCH PERIOD

(1) Doctoral work will take place at both universities and the respective periods of residence will be coordinated with the supervisors from both universities. The duration of research supervision at National Taiwan University shall be at least one year in principle. It is desirable for the Cotutelle Student to receive research supervision at Hokkaido University for at least half of the duration of his enrollment period.

(2) The period of study at each university

1st Year: from April / 2018 to May / 2018 at Hokkaido University
from May / 2018 to March / 2019 at National Taiwan University

2nd Year: from April / 2019 to May / 2019 at National Taiwan University
from May / 2019 to March / 2020 at Hokkaido University

3rd Year: from April / 2020 to September / 2020 at Hokkaido University
from October / 2020 to November / 2020 at National Taiwan University
from December /2020 to March / 2021 at Hokkaido University

(3) The Cotutelle Student shall be ultimately responsible for covering the costs of his own housing during the stay at National Taiwan University. However, National Taiwan University agrees to assist the Cotutelle Student in finding suitable housing for [him/her].

(4) The Cotutelle Student must purchase health insurance covering the duration of his stay at National Taiwan University. Both universities will provide information about insurance to the Cotutelle Student.

ARTICLE 4 THESIS DEFENSE

(1) The thesis will be submitted to Hokkaido University, alongside an abstract. The defense for the Cotutelle Student will be conducted with the supervisor(s) from National Taiwan University, who will act as examiner(s).

(2) The language to be used for the thesis, the defense and the abstract are as follows:

<u>English</u>	<u>Japanese</u>	<u>English and Japanese</u>
Language of the text	Language of the defense	Language of the abstract

(3) Unless otherwise agreed by the universities, travel and other expenses which are undertaken by the examiner(s) for the defense shall be borne by Hokkaido University for the Cotutelle Student. A TV conference system and other similar systems may be used in the defense as needed.

ARTICLE 5 DOCTORAL DIPLOMA

(1) If the Cotutelle Student passes the thesis defense successfully and satisfies the requirements for completion, Hokkaido University shall award the Cotutelle Student a doctoral degree.

(2) The diploma which is conferred to the Cotutelle Student from Hokkaido University shall include the words, 'under a cotutelle agreement with National Taiwan University'.

(3) The doctoral diploma will be awarded in strict compliance with the Hokkaido University Regulations Concerning Academic Degrees.

ARTICLE 6 INTELLECTUAL PROPERTY

(1) National Taiwan University and Hokkaido University agree that, in the event of research collaboration leading to patent rights, copyrights or other intellectual property rights, a further written agreement shall be negotiated in each case in accordance with the regulations of the two universities.

(2) Separate agreements shall be written for research that may lead to licensing or revenue generation activities.

(3) Should there be any discrepancies between the two universities with regards to intellectual property, both universities will negotiate in good faith to resolve such discrepancies.

ARTICLE 7 CONFIDENTIAL INFORMATION

National Taiwan University, Hokkaido University and the Cotutelle Student agree to keep any confidential information and not to disclose it directly or indirectly to any third party or make a publication of any technical, financial or other information pursuant to this Agreement without prior written approval.

ARTICLE 8 WITHDRAWAL FROM COTUTELLE

(1) If the Cotutelle Student withdraws from the Cotutelle Program, he must request to withdraw from the Cotutelle Program in a written form to both universities. After the request is accepted by both universities, this Agreement will be terminated.

(2) Both universities can terminate this Agreement if the Cotutelle Student violates any rules or regulations of either university.

(3) In the event of the premature termination of this Agreement, the Cotutelle Student can remain enrolled at Hokkaido University to continue his study and research.

ARTICLE 9 VALIDITY

This Agreement shall come into effect from the date of signing by both universities and the Cotutelle Student and it remains valid until the date when the Cotutelle Student completes the Cotutelle Program or this Agreement is terminated as stipulated above in Article 8.

NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY

Wen-Chang Chen
Dean
College of Engineering

Date:

Shih-Kang Fan
Supervisor

Date:

HOKKAIDO UNIVERSITY

Takeshi Ohkuma
Dean
Graduate School of Chemical
Sciences and Engineering

Date:

Manabu Tokeshi
Supervisor

Date:

Takeshi Komatsu
Cotutelle Student

Date:

國立臺灣大學機械工程學系

計算機中心組織與管理辦法

- 一、為提供良好教學環境和教學工具，使機械系計算機中心(以下稱本中心)所提供之軟硬體設備能達到最大使用效益而訂定本辦法。
- 二、本中心之主管為機械系(以下稱本系)主任，得商請本系助理教授以上教師為本中心負責人，並設助教一人為本中心管理員。
- 三、本中心負責人及管理員每年應於年終盤點財物一次，呈報本系主任備查，並視設備使用情形，於寒暑假期間淘汰不堪使用之設備。
- 四、本中心每年一月底編列預算，經與本系主任協商後，送本系系務會議審查議決。
- 五、電腦教室借用規定
 1. 開放對象：本校師生、校內電腦相關課程及活動、校外合作單位電腦相關課程。
 2. 場地資訊：本中心提供一間電腦教室供教學研究之用，並視需要可提供投影機、麥克風、廣播教學等設備。
- 六、開放時間

平日:9:00~1700(無課時)。

假日:限持有門禁卡之本系師生或經本系核准之租借廠商使用。重大節慶及連續假期則視情況彈性調整。

其他:本中心因設備保養、維護、清潔等因素而暫時關閉時，於本中心公佈欄和本系網站上公布關閉時間。
- 七、借用優先順序
 1. 本系課程表所列之電腦相關課程。
 2. 本中心電腦訓練課程。
 3. 校內其他單位、學生營隊之電腦相關課程。
 4. 校外單位所辦電腦訓練課程。
- 八、申請程序
 1. 門禁卡申請應填妥申請表，於工作日向本中心管理員提出申請。
 2. 借用電腦教室者應填妥詳細說明租借時間與活動內容之申請表向本中心管理員提出申請，經本中心負責人同意後核准。
 3. 若有特殊設備或軟體需求，須於借用日 7 日前提出。
- 九、使用須知
 1. 使用者需遵守本辦法中所規定之電腦教室設備使用規範。
 2. 若因使用不當而造成設備損壞者，應負賠償責任。
 3. 若借用期間電腦教室內之設備有損壞或遺失者，借用單位須負賠償之責任。

4. 使用本中心之雷射印表機時，必須自備列印紙張。
5. 教室借用完畢後，使用者應負責將場地復原。
6. 請自行妥善保管個人物品，本中心不負擔保管個人物品之責任。

十、 電腦教室設備使用規範：

1. 採門禁刷卡制，嚴禁代刷卡以及跟進。
2. 禁止攜帶飲食入內、吸煙、喧鬧、隨手丟棄垃圾，以維護環境安寧與整潔。
3. 使用者在離開電腦教室以前，須先關閉機器並將滑鼠、鍵盤、座椅等公物回歸定位，廢棄紙類及垃圾應自行帶走，以維護室內整潔。
4. 禁止將飲料、垃圾、空罐放置在本中心及中心大門外四周圍。
5. 使用本中心電腦設備，遇有任何問題應請助教處理，禁止自行任意搬動設備或拆移電腦任一週邊設備。
6. 如遇任何印表機問題，例如：卡紙、碳粉不足等，應洽助教，嚴禁自行拆裝機器。
7. 未經助教同意，禁止個人同時佔用多台電腦。
8. 禁止故意損毀或偷竊本中心軟硬體設備。
9. 禁止在電腦上玩電玩遊戲、瀏覽色情網站或其他濫用電腦之行為。
10. 禁止存取、使用、拷貝非法軟體或違反版權之聲音、影像、文字等檔案。
11. 為維護智慧財產權，電腦教室之電腦嚴禁點對點程式下載或安裝未經授權之軟體。
12. 未經本中心管理員同意，不得私自安裝任何軟硬體。
13. 其他明顯不妥或違法之行為。

十一、 違反前條規定者，第一次被查獲者，自查獲時間起停止其門禁卡及電腦教室使用權限一個星期；兩次以上累犯自查獲時間起停止其門禁卡及電腦教室使用權限一個月。情節重大者，將永久不得申請電腦教室門禁，並移送學校相關單位依校規懲處。

十二、 本辦法未盡事宜悉遵從本中心管理員之管理；如有爭議，應向本中心負責人或本系主任請求協調。

十三、 本辦法經系務會議通過後公告實施，修正時亦同。

國立臺灣大學機械工程學系 實習工場管理辦法

107.2.12 修正

第一條 機械系及機械研究所(以下簡稱本系)為有效且合理的管理及使用本系實習工場(以下簡稱本場)，特訂定本辦法，以為管理及使用之依據。

第二條 本場設立之宗旨，依優先順序條列於下：

- (一) 支援本系需利用到本場設施與技術支援之課程教學。
- (二) 提供本系教學與研究相關之技術服務。
- (三) 進行本系核准之委託教學與委託勞務。
- (四) 提供本校教學與研究相關之技術服務。

第三條 本場之組織：

- (一) 本場之主管為本系系主任，對本場行政、人事、政策等有決定權。
- (二) 本系系主任得商請本系助理教授以上教師為本場負責人，授權處理本場所有日常工作。
- (三) 本場編制設有行政室、車工、銑工、鉗工、焊工、CNC 加工、鑄工間，研究加工間及器材室。如任務需要，本場編制得經本系系主任同意後調整之。

第四條 本場經費之運用：

- (一) 與本系必修課實習相關之費用，由本系提撥經費支應。
- (二) 教學與研究相關之技術服務，其相關材料費用由提出需求之教師負擔。
- (三) 本系核准之委託教學與委託勞務，其費用由委託人負擔。
- (四) 本場負責人應於每年一月底前整理出前一會計年度之收支表，並提出新年度經費預算表，交由本系系主任裁決並向學術委員會報備。

第五條 本場之管理：

- (一) 本場之一切設備，包含場房、四周庭園、機具、水電設施等均為臺灣大學財產，由本系保管、維護，並決定如何使用，違反規定者報請本系系主任懲處。
- (二) 本場依本辦法之精神，另訂「機械系實習工場管理施行細則」，詳加規範場內各項活動。
- (三) 本場內的各項作業主要有課程教學、技術服務與委託勞務等，另訂「機械系實習工場作業施行細則」予以管理。

第六條 本場管理辦法暨相關施行細則之訂定及修改：

- (一) 本系教師及本場職員工對本辦法暨相關施行細則有疑義時，得向工場負責人提出修正案。
- (二) 修正案之提案人應與本場負責人及本系系主任充分討論溝通後，送交本系系務會議議決。
- (三) 所有相關修訂經系務會議通過後公告實施。